

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172900250		
法人名	有限会社 環境設備		
事業所名	グループホーム プランタン		
所在地	旭川市東旭川町上兵村464-1		
自己評価作成日	平成28年2月1日	評価結果市町村受理日	平成28年3月22日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigyosyoCd=0172900250-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス
所在地	札幌市中央区北1条西7丁目1 あおいビル7階
訪問調査日	平成 28 年 2 月 24 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します

項目		取組の成果 ↓該当するものに○印		項目		取組の成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる (参考項目:23、24、25)	○	1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんどつかんでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9、10、19)	○	1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18、38)	○	1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2、20)	○	1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36、37)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11、12)	○	1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30、31)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目:28)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない				

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者に「喜んで」もらい 私たちも「喜べる」よう努力します。という理念を掲げ、職員一同が意識した上で実践に繋がっています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議の実施や町内会の加入、地域の行事等にも進んで参加をしています。また、地域の医療機関へ往診対応をお願いしたり、地域の商店街で買い物をする事で、少しでも地域との交流をはかれる様、努めています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域包括支援センターが主催する勉強会や、研修会には進んで参加をし、認知症の人の理解や支援の方法を自分の経験や自分の施設での実例を元にお話しさせて頂き、意見交換をさせて頂いています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、医療機関や同業者の方、地域住民の方へ施設の近況や活動を随時報告し、会議での意見を取り入れサービス向上に活かしています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	日頃より、市の担当者や地域包括支援センターの方と密に連絡を取り合い、いつでも協力して頂ける関係性を築ける様、努めています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員会議時に、身体拘束廃止委員会の場を設け、定期的に事例検討を行なっております。身体拘束を行わないケアをする為、日頃より利用者の病状や状況の把握をした上、職員間で情報の共有を行ない安全なケアを行なえる様、努めています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日常の業務連絡や、ミーティングにて個々の利用者の状態を話し合い、決して虐待が起こり得ない様、ご家族様や医療機関の協力を得て、虐待防止に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	市や地域包括支援センター等で開催されている研修会や勉強会には積極的に参加をし、職員会議や当施設での勉強会にて意見交換をしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前には事前に契約書をお渡しし、契約時に不安や疑問があれば十分な話し合いが出来る様、努めています。解約時には互いに不安が無い様、十分な時間を確保した上説明をさせて頂き、理解や納得を図っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	全職員が、利用者様やご家族様の意見・要望をいつでも受けられる様な体制作りを行ない、職員会議や職員ミーティングの中で話し合った上、施設の運営に反映させています。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員との意見交換をする為、職員会議やユニットミーティングを行ない、管理者と職員・職員同士が何でも話し合える関係性を築いています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、定期的にニーズに合わせた会議を行ない、各事業所の施設長や管理者を通して、職員の勤務状況を把握しており、昇給等の検討を行ない職員が向上心を持って働きたいと思える職場作りに努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内では、職員のスキルアップの為、他施設実習への機会を作り、報告会等の場を設け意見交換を行なっています。法人外では、管理者研修や実践者研修等を含めた研修会や国家資格に関わる研修会等の参加を出来る様な環境作りをしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている	当施設の運営推進会議や地域で行なわれている勉強会の他に、医療・介護・法律等の様々な分野の勉強会などに積極的に参加をし、同業者の方と交流を図っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスの利用を開始する前に携わっていた介護支援専門員等に情報提供を頂き、利用者様の現状の把握に努めた上、互いに安心した関係を作るコミュニケーションを図っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスの利用開始前に、施設見学に来て頂き十分な面談を行ない、ご家族様が不安に思っている事や疑問に思っている事をよく話し合い、安心して施設に入居して頂ける様、心掛けています。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様やご家族様の現状を把握し、ご本人様やご家族様の思いを十分に考慮し、今必要なケアをよく話し合い、実践に繋げられる様、心掛けています。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活において、利用者様と一緒に食事にレクリエーションに日常の会話を楽しんだり、日々コミュニケーションを図り、利用者様が安心して暮らせる様に築いています。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様との絆を大切に頂く為、互いの思いを尊重し、ご家族様にも協力して頂きながら、より良い暮らしが出来る様、支援しています。			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	手紙の代行や、面会に来て頂ける様に呼び掛けを行ない、昔と変わらない付き合いが少しでも続けられる様、支援に努めています。			
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共同生活において、互いに尊重し助け合って暮らしていける様、私達が上手に間に入り少しでも他利用者様と関わりが持てる様な場を提供し、参加して頂ける様支援しています。			
22		○関係を断ち切らない取組 サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご本人様含め、ご家族様や医療機関等に関わりある全ての方との関係性を大切に、サービス終了後の相談や支援に努めています。			
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人様の意志を尊重した上、ご家族様等に相談し出来るだけ無理なくご本人様の希望が叶えられる様、支援しています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様やご家族様の他に医療機関や交友関係のある方にお話しを伺い、入居前の生活歴や生活環境について情報を得て把握し、今の支援内容に繋がっています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録だけではなく、日々利用者様とより多くの関わりを持ち、職員間の密な情報共有により利用者様の現状把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様がより良い暮らしをする為に、ご家族様や医療関係者様等の意見やアドバイスを頂き、ご本人様の思いを尊重した上で、介護計画の作成に役立てています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の介護記録を基に、職員ノートや職員ミーティングで情報共有し、利用者様のケアについて話し合い、介護記録の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様には、面会時やお手紙、お電話で日常の様子を含め、常時お話しをさせて頂いています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	農業まつり等の地域のイベントへ参加をしたり、地域の農産物などを食す事で、地域の活性化の促進へ協力出来る様、支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様やご家族様よく話し合った上、主治医や看護師とカンファレンスを行ない、適切な医療を受けられる様、支援しています。希望によっては、施設で協力して頂いている病院へ往診対応をお願いする事も可能です。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携看護師の定期訪問において、健康管理を行っており、24時間体制で対応になっています。体調の悪い利用者様が居る際にも、随時相談をし指示を仰いでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている、又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	安心して入院治療が出来る様、予め主治医に相談し、かかりつけの病院で対応出来る様、医療機関との連携を図っています。入院中、病院でのカンファレンスにもご家族様と共に積極的に参加し、退院時の対応が迅速出来る様、支援しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者とともにチームで支援に取り組んでいる	入居時に、ご本人様とご家族様へ終末期に向けた意向を確認しています。看取り指針に関しては、同意書を基に施設においての対応等の説明を行っております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時に迅速な対応出来る様、全職員が消防署の救命救急の訓練を受けています。緊急対応用の利用者様に関する情報や緊急時対応に関するマニュアルを作成しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署による避難訓練を年に2回以上行ない、日中及び夜間を想定とし、全職員が災害時に迅速な対応出来る様、訓練しています。運営推進会議にて、地域の方々や災害時についての情報交換を行ない、協力体制を築いています。		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の人格を尊重し、情報・状況を職員同士で共有し、一人一人に合った声掛けやケアを行ない、不快な思いをしない様心掛けています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	上手く言葉に出来ない利用者様もいる為、表情や態度等細かな様子を観察し、相手のお話をよく傾聴し何を訴えているのかを常に考えてケアしています。利用者様の思いや希望、自己決定が少しでも出来る様、働きかけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	利用者様の日々の生活習慣を把握した上、ご本人様とのコミュニケーションを図る中、一人一人が少しでも思い通りに気持ち良く生活出来る様、支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に訪問理美容を利用し、カットや顔そりをしています。衣類は、本人にご自分で選んで頂き好きな洋服を着て、個々におしゃれ出来る様、支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬な野菜や魚を取り入れ、出来るだけ手作りにこだわった食事を提供しています。誕生日には個々に好きなメニューを選んで頂き、お祝い事には特別メニューを提供しています。食事の際は、職員と一緒に家庭的な雰囲気の中で召し上がって頂いています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事制限をされている利用者様は、医師・看護師・栄養士による指導のもと、食事や水分制限を行ない栄養管理に努めています。月に一度、各事業所の担当者が集まり、食事に関する意見交換や、情報交換を行ない利用者様への安心・安全な食事提供を心掛けています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者様のニーズに合わせたブラシやスポンジ等を使用し、毎食後に口腔ケア介助や声掛けを行なっています。地域の歯科医とも連携を図り、定期検診も行なっています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄のリズムを把握する為、排泄表を作成し利用者様または、職員が都度記入しています。排泄時には、利用者様によっては、定期的に声掛けをトイレへ排泄誘導を行なっています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の食事・水分の摂取量を記録し把握しています。便秘にならない様、小まめな水分補給の促しや、ヨーグルトやヤクルト等の取り入れを行なっています。他には、ラジオ体操等の積極的な声掛けも行なっています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に沿った支援をしている	入浴日は、週に2回行なっています。体調不良や通院等で入浴が困難な日は、別日のご本人様の都合のいい日にずらし入浴を楽しんで頂いています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居前の生活習慣も考慮し、夜間不眠・昼夜逆転にならない程度に、仮眠も行なっています。夜間は、基本の就寝時間もありますが、好きな時間に好きなタイミングで気持ちよく眠れる様、支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬が変更になる度に、連絡ノートや介護記録に記入し、全職員が把握出来る様にしています。さらに、薬の副作用や内容が分かりにくいものに関しては、医師・看護師・薬剤師に確認し理解に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴や嗜好品、趣味等は利用者様ご本人やご家族様から情報を得て、施設に入居してから楽しみや生きがいを持ちながら暮らしていける様、支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご本人様の希望に沿って、通院や面会、買い物等の外出を出来る限り行ない、状況に応じてはご家族様にもご協力を得て支援しています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	所持金がある利用者様は、ご本人様・ご家族様・職員が立ち会いの元、定期的に確認をし管理しています。個々によっては、一緒にお買い物に出掛けたり通販で買物をしたり、訪問販売にてお買物を楽しめる様、支援をしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話や固定電話を所有して自由使用出来る方もいます。手紙にて、ご家族やご友人とのやり取りをしている方には、手紙の代筆や投函の代行支援も行なっています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間と廊下の2箇所冷暖房を設置、各居室には暖房機が有、寒暖差が激しくならない様、窓の開閉なども小まめに行ない、適度な温度や湿度を保っています。共用の空間スペースはとも広さもあり、大きな窓もあります。程よい光も差し込み、外の景色も良く見え、季節感を感じて頂いています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間のテーブルやソファの配置も、利用者様のニーズに合わせて、都度変えています。レクリエーションや食事等の際には、その都度居場所を変え、利用者様同士が心地良く過ごせる様心掛け、配慮しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は23畳ととても広く、各居室にはトイレや洗面台も設置されています。今まで愛用されていた馴染みの家具や、生活用品等も変わらずに使用して頂けます。ご家族様が泊りに来て頂いても、十分な居室の広さがありますので、一緒に過ごして頂けます。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下や居室・トイレ・浴室等に手すりを付け安全に過ごして頂ける様、万全な配慮をしています。利用者様の機能維持を図り、今後も自立した生活が送れる様、工夫しています。		